授業科目名[英語名]							
技術と文化[Technology and Culture]							
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]							
長谷川雅康[285-7868]							
E-Mail	hasegawa@edu.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全学部（除く教育）			
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 ５分野	開講期	前期金曜１限	単位等	2.0
共同担当教員名							

教育目標のキーワード

視野･判断力･探求能力/視野･判断力･探求能力

学習目標 (学生の達成　目標)

１．農業技術に関する基礎的知識
２．工業技術に関する基礎的知識
３．両技術の歴史的変遷についての知識
４．技術の社会的背景の理解
５．自らの生活と技術の関係についての知識と関心
６．自らと環境の関わりに関する問題意識

授業概要 (目的･内容･方法)

人間社会は生産技術を用いた労働なくして存続し得ない。この授業では、技術とは何かを農業技術と工業技術の具体例をとおして学習する。人間と自然の関係を生産技術と労働を介して、理解できるようになることを目指す。生産のあり方、生活のあり方、文化のあり方を技術のあり方とのかかわりで考察する。また、技術を学ぶ意義についても考えたい。
この授業は、初学者を対象とするため基礎的な内容で構成する。
講義資料とＶＴＲ・スライド・実物などをできるだけ交え、講義する。

授業計画 (15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)

１．はじめに　人類の誕生と技術
２．農業とは何か　栽培と作物
３．イネの栽培
４．農業技術と文化
５．工業技術の結晶：自動車とその歩み
６．製鉄と鉄鋼材料　燃料とエネルギー
７．工作機械と生産システム　ロボットと自動化
８．都市と人間
９．自動車と環境
１０．鹿児島における技術と文化－集成館事業を中心に－
１１．ゴミ問題:大量生産と大量消費の帰結,ドイツに学ぶ
１２．ヨーロッパの２１世紀技術戦略
１３.自然と人間の共生　ものと人間の関係　農業と工業の調和 文化とは　技術を学ぶ意義
１４．受講生とのディスカッション
１５．おわりに

受講要件	技術に関心のある方。		
評価基準および方法	①農業、工業、技術全般に関するレポートを3回課す。（６０%） ②出席（４０%）		
教科書	講義資料集を使用する。	**参考書**	ジョニー・ハイマス『おこめ』小学館、田村明『環境計画論』鹿島出版会ＳＤ選書、小宮山宏『地球持続の技術』岩波新書　など講義で適宜紹介する。
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	【オフィスアワー】水曜日10:30～12:00、随時相談して対応。【メール・HP】hasegawa@edu.kagoshima-u.ac.jp 【授業後】必要に応じて対応する。【その他】	**その他**	「技術」とは人間にとって何か？という疑問・問題関心のある方の受講を期待している。